

2. エリア及びゾーンの内容

(1) 農業農村整備事業の確認

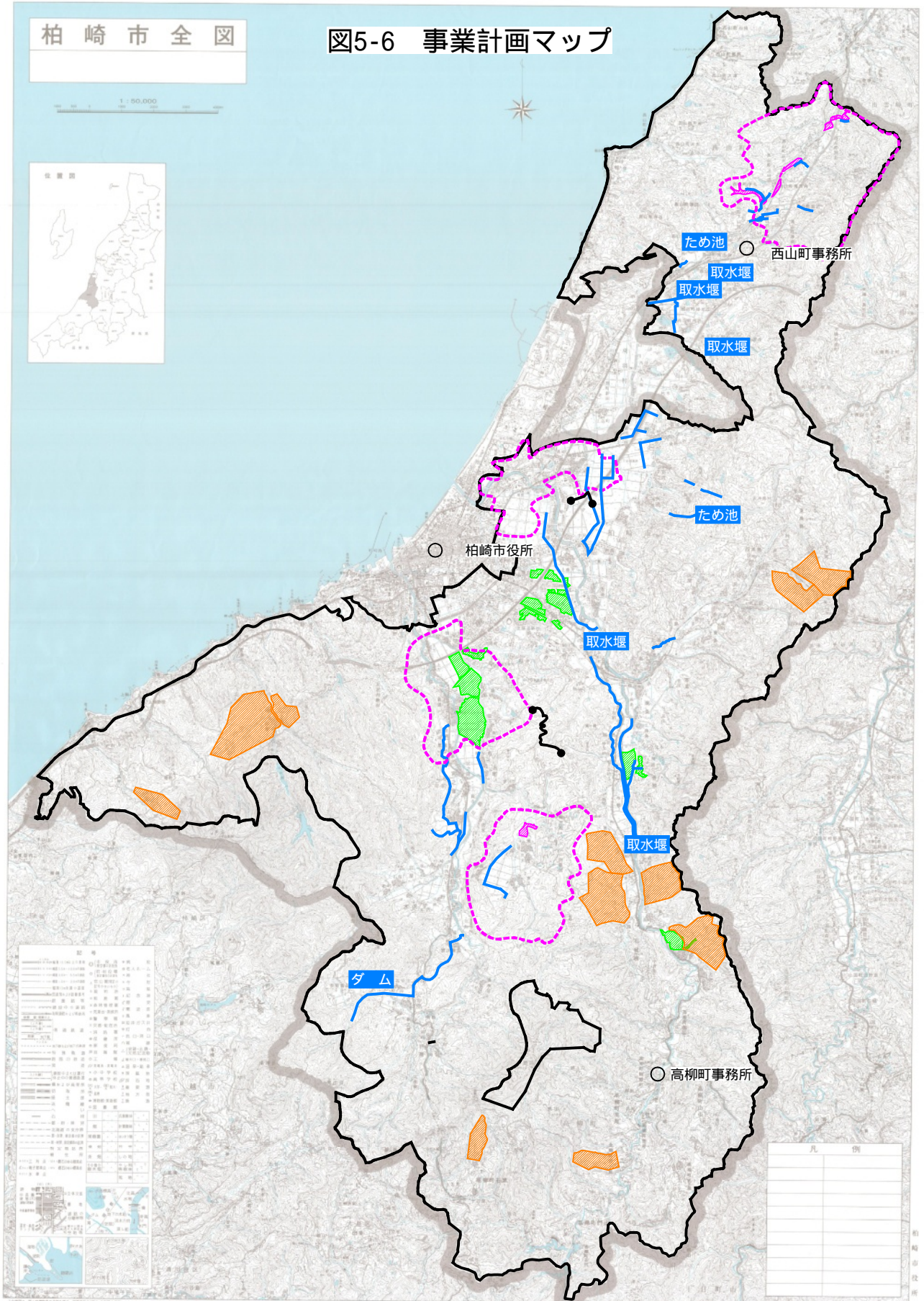
農業農村整備事業は、農業生産に必要となる「農業水利施設や農地の整備」などにより生産性を高めるとともに、「農業の持続的発展」、「農村の振興」、「食料の安定供給」、「多面的機能の発揮」の実現を図る重要な役割を果たしています。

また、農業農村整備事業の実施に際しては、魅力的な農村地域を守るため、農村環境や景観の保全を図りつつ、「農業・農村の担い手を育てていくための、地域活動の振興や都市農村交流を促進していくこと」が重要となります。








本市の農業農村整備事業において、現在整備中もしくは今後整備予定の事業で主要な事業を整理し、図 5-6 に示します。

柏崎市全図

図5-6 事業計画マップ



現在整備中もしくは今後整備予定の主な農業農村整備事業

凡例	事業の名称	事業内容
	中山間地域総合整備事業 村づくり交付金事業	区画整理,用排水路, 集落道 など
	経営体育成基盤整備事業	区画整理,用排水路, 暗渠排水 など
	かんがい排水事業 湛水防除事業	ダム,取水堰, 用排水路 など
	一般農道整備事業(広域関連) 広域営農団地農道整備事業	広域農道 など
	ため池等整備事業	堤体工,用排水路, 取水堰 など
	地すべり対策事業	承水路,排水路, 土留工 など
	農業振興地域	

(2) エリアの内容

本市における農村環境計画のフレームを図5-7に示します。

各エリアにおいて、「今後の農業農村整備事業」適応させつつ、「環境保全の整備目標」を踏まえて、取り組みを展開していきます。

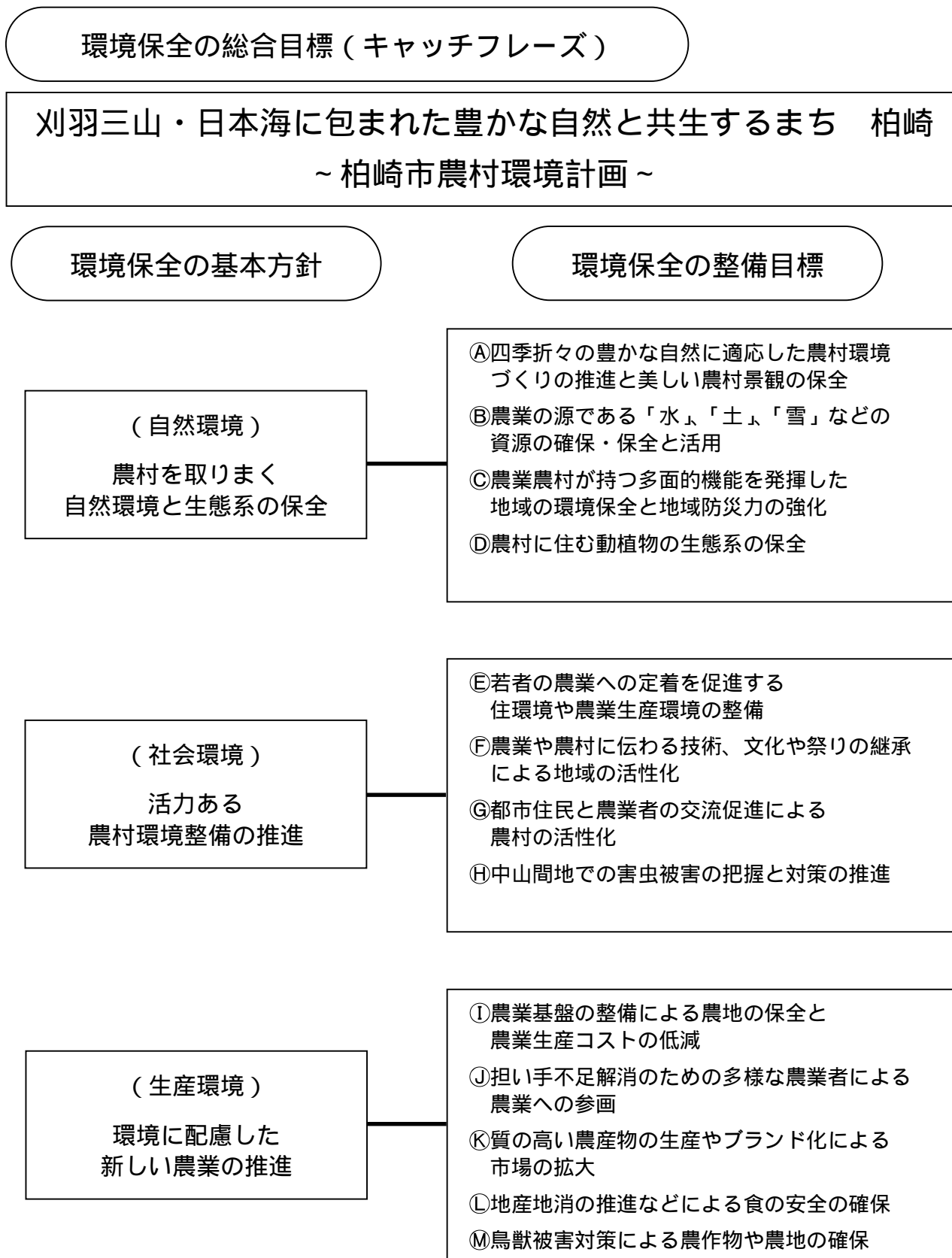
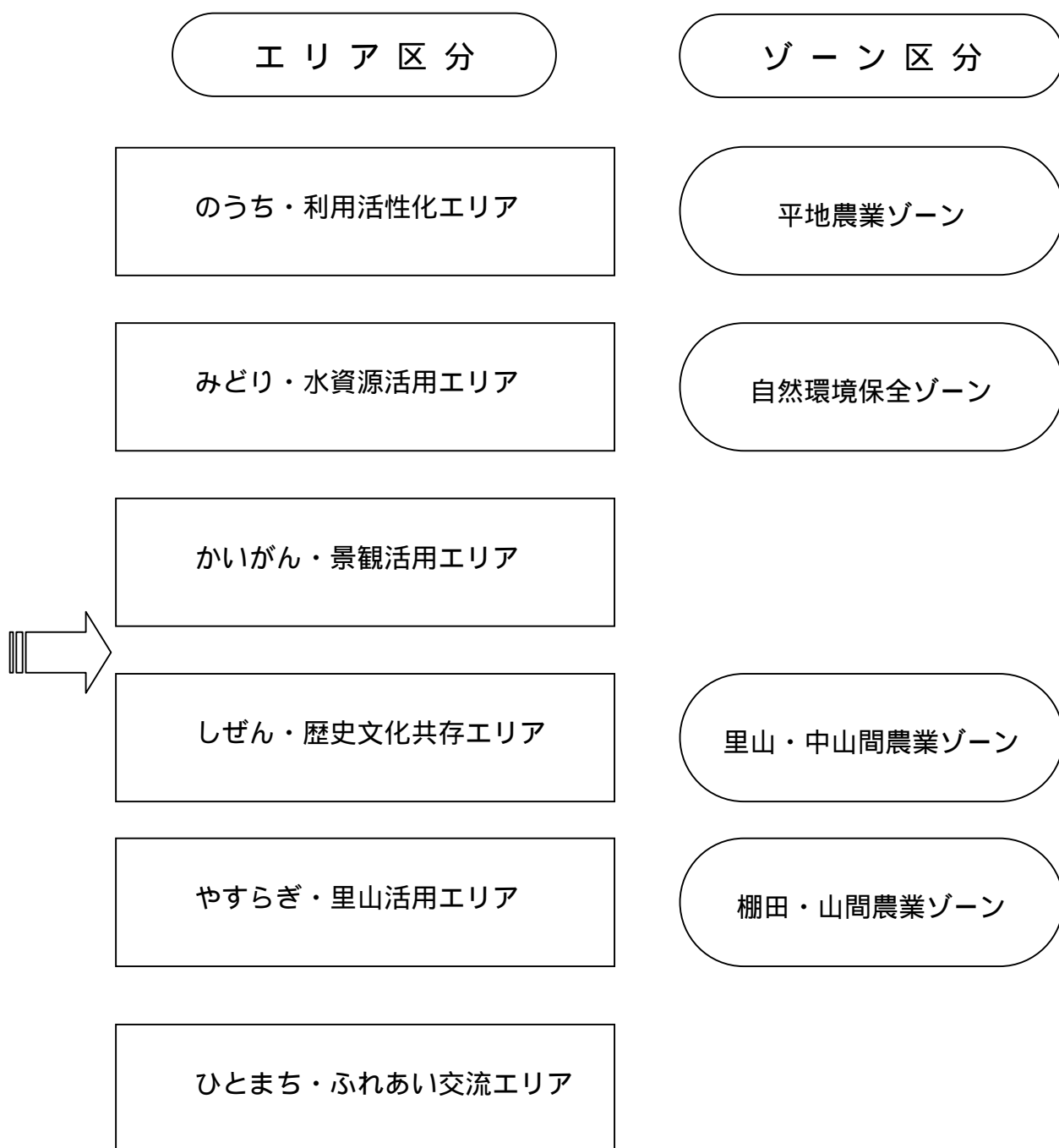


図5-7 農村環境計画のフレーム



各エリアに関連する環境保全の整備目標を、表 5-6 に示すように設定します。

表 5-6 エリア区分の内容

環境保全の 基本方針	自然環境				社会環境				生産環境							
	農村を取りまく自然環境と生態系の保全				活力ある農村環境整備の推進				環境に配慮した新しい農業の推進							
環境保全の 整備目標	・四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全	・資源の確保・保全と活用	・農業の源である「水」、「土」、「雪」などの地域の環境保全と地域防災力の強化	・農業農村が持つ多面的機能を発揮した	・農村に住む動植物の生態系の保全	・若者の農業への定着を促進する 住環境や農業生産環境の整備	・農業や農村に伝わる技術、文化や祭りの継承による地域の活性化	・農村の活性化	・都市住民と農業者の交流促進による	・中山間地での害虫被害の把握と対策の推進	・農業生産コストの低減	・農業基盤の整備による農地の保全と農業への参画	・担い手不足解消のための多様な農業者による市場の拡大	・質の高い農産物の生産やブランド化による	・地産地消の推進などによる食の安全の確保	・鳥獣被害対策による農作物や農地の確保
エリア区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
のうち・ 利用活性化 エリア																
みどり・ 水資源活用 エリア																
かいがん・ 景観活用 エリア																
しぜん・ 歴史文化共存 エリア																
やすらぎ・ 里山活用 エリア																
ひとまち・ ふれあい交流 エリア																

印：各エリアに関連する環境保全の整備目標
 印：特に重点的に取り組む環境保全の整備目標

各エリアにおいて、「環境保全の整備目標」を基に、農業・農村での取り組みのコンセプトを設定し、これに対応するイメージを示します。

のうち・利用活性化エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- ◎農業農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
- ㊦若者の農業への定着を促進する住環境や農業生産環境の整備
- ①農業基盤の整備による農地の保全と農業生産コストの低減
- Ⓚ質の高い農産物の生産やブランド化による市場の拡大
- ㊤農村に住む動植物の生態系の保全
- ①地産地消の推進などによる食の安全の確保



【のうち・利用活性化エリアのコンセプト】

適切な農地の保全・管理による地域防災力の強化
 環境保全型農業に配慮した高生産性ほ場の拡大・保全
 柏崎ブランド米の確立と販売網の拡大



◎大雨時の一時貯留を目的とした
田んぼダムの取り組み



㊦①大区画ほ場整備の推進



Ⓚ柏崎のブランド米



㊤ビオトープによる
動植物の生態系の保全

みどり・水資源活用エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- ㊦農業の源である「水」「土」「雪」などの資源の確保・保全と活用
- ㊧鳥獣被害対策による農作物や農地の確保
- ㊨四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全
- ㊩都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化



【みどり・水資源活用エリアのコンセプト】

ブナ林などの森林保全と河川の適切な維持・管理
動植物との共生と豊かな自然との調和



㊦谷根川さけの森づくり



㊦サケが遡上するきれいな河川



㊦貴重な自然環境である
ブナ林の保全



㊦電気柵によるイノシシ被害対策

かいがん・景観活用エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- ㊤四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全
- ㊤農村に住む動植物の生態系の保全
- ㊤地産地消の推進などによる食の安全の確保



【かいがん・景観活用エリアのコンセプト】

美しく豊かな自然景観を活かした地域の活性化
観光資源を活かした柏崎の食の魅力の情報発信



㊤豊かな観光資源を活かした水辺環境の維持



㊤青空市場の開催

しぜん・歴史文化共存エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- Ⓐ四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全
- Ⓓ農村に住む動植物の生態系の保全
- Ⓔ農業や農村に伝わる技術、文化や祭りの継承による地域の活性化
- Ⓕ中山間地での害虫被害の把握と対策の推進
- Ⓖ担い手不足解消のための多様な農業者による農業への参画

- Ⓑ農業の源である「水」、「土」、「雪」などの資源の確保・保全と活用
- Ⓒ農業農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
- Ⓔ若者の農業への定着を促進する住環境や農業生産環境の整備
- Ⓒ都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
- Ⓓ農業基盤の整備による農地の保全と農業生産コストの低減
- Ⓜ鳥獣被害対策による農作物や農地の確保



【しぜん・歴史文化共存エリアのコンセプト】

地域の特性を活かした地域コミュニティの活性化
 歴史・文化等の多様な農村資源の維持・管理
 不作付農地を解消する適切なほ場の整備・保全



Ⓐ各地域にある豊かな自然環境の維持・保全



Ⓔ綾子舞現地公開



Ⓖ地域の特性に合わせたほ場整備の推進



Ⓒ各種イベントによる地域コミュニティの活性化

やすらぎ・里山活用エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- ◎農村が持つ多面的機能を発揮した地域の環境保全と地域防災力の強化
- ◎都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
- ◎中山間地での害虫被害の把握と対策の推進
- ◎鳥獣被害対策による農作物や農地の確保

- ◎四季折々の豊かな自然に適応した農村環境づくりの推進と美しい農村景観の保全
- ◎若者の農業への定着を促進する住環境や農業生産環境の整備
- ◎農業や農村に伝わる技術、文化や祭りの継承による地域の活性化
- ◎担い手不足解消のための多様な農業者による農業への参画
- ◎質の高い農産物の生産やブランド化による市場の拡大



【やすらぎ・里山活用エリアのコンセプト】

里山の景観を活かした棚田の維持・保全

グリーン・ツーリズムによる都市住民との交流促進と農産物の流通拡大

効果的な有害鳥獣の捕獲技術や被害防除技術の開発・普及



◎棚田サポーターの活動



◎「かやぶきの里」での田舎体験



◎電気柵によるイノシシ被害対策

ひとまち・ふれあい交流エリアの基本概念

【環境保全の整備目標】

- ㊤都市住民と農業者の交流促進による農村の活性化
- ㊦地産地消の推進などによる食の安全の確保



【ひとまち・ふれあい交流エリアのコンセプト】

都市と農村をつなぐ拠点施設の利活用

各種イベントによる安全・安心な地場産農産物の情報発信と販売網の拡大



㊤既存直売所の有効活用



㊦柏崎農業まつりの開催



㊧柏崎地場産ランチフェアの開催